

－労働と教育の場「雑草」・ごはん☆あらぐさ・クローバーハウス・生活支援センター・法人・後援会だより－

あらぐさニュース

2024.10.20 発行

Vol.95

発行／社会福祉法人あらぐさ福祉会 〒362-0051 上尾市地頭方 438-6 TEL048-726-5720 048-726-5862(支援センター直通)



今年も恒例の一泊旅行へ行ってきました。今回は10月1～2日に女性が千葉県、10月3～4日に男性が山梨県へ😊

女性の旅行は1日目赤レンガ倉庫で買い物、ローズマリー公園で石鹸作り！ハーブの香りの素敵な石鹸を作り上げています。宿泊したホテルはオーシャンビュー🌊常に波の音が聞こえる癒し空間でした。2日目は鴨川シーワールド！シャチのショーは後ろの席にまで水が飛んでくる迫力満点のショーで大盛りでした！
(樋口)

男性一泊旅行は箱根、伊豆！お天気はあいにくでしたが、行く先々で微妙に晴れ間も見え楽しく過ごすことができました。特に駒ヶ岳ではあたり一面霧まみれ！でもなかまが見晴らしのいいところを目指すときだけは不思議と霧も晴れて、「運を持ってー！」ラッキーな旅行でした！



In CHIBA

海ほたる

豊後大宮門でパンフレット📖

石鹼作り体験



海ほたるのオムラ



海が見える素敵なホテルでし

1500万円の違 和感

涼しくなりましたがこの夏はとてつもなく暑かった！皆様お元気ですか？年々酷くなる暑さに、「普通に暮らしているのか！」と相変わらず焦りを感じます。

まず、お知らせがあります。第4のグループホームの業者が決まり建築が始まりました。来年2月に竣工予定ですが、一番の心配は人手不足です。開所のお知らせをお届けできるよう、精一杯努めてまいります。

さて、「虎に翼」が終わりました。その中で原爆裁判がありました。申し訳ないことに、被爆者が国を相手に裁判を起こしたことを全く知りませんでした。世間が被爆者をどう見るとか、近親者から受けた仕打ちとかが丁寧に描かれていて、被爆者の「普通に生きたい」願いと現実の過酷さが伝わりました。想像を絶する辛い中、その結果も受け止める覚悟を持って原告となった方々は、どんな思いだったのでしょうか。

判決は原爆を国際法違反としましたが、個人の賠償は認めませんでした。テレビでは裁判官の苦渋も描かれていました。だからこそ、判決文は国を断罪しました。「被爆者の救済は国が果たす責務であり、高度の経済成長を遂げた国の財政上、これが不可能であるとは到底考えられない。われわれは本訴訟を見るにつけ、政治の貧困を嘆かずにはおられないのである！」と。涙が出てしまいました。この判決が被爆者の医療費保障などの救済につながったのですね。

しかし「政治の貧困」は今も続いています。9月21日の長崎の被爆者認定訴訟の判決は、44人のうち15人を「被爆者」とし、全員を認定しませんでした（「被爆体験者」と「被爆者」とに分けられていることも知りませんでした）。この判決も差別を残す結果で、原告の人たちは怒り心頭ですが、あろうことか国は「15人は被爆者ではない」と控訴しました。この国はどこまで愚かなのでしょうか。

時が過ぎ、7月3日優生保護法裁判の最高裁判決がありました。最高裁は、「優生保護法は憲法違反であ

る。国の『民法の訴追期間を過ぎたからできない』という主張は、著しく正義・公平の理念に反し容認できない」と否定しました。読み上げられた時、法廷の傍聴席は歓喜の声が上がり抱き合っただけで涙したそうです。

そして賠償額が決まりました。1,500万円です。違和感を覚えたのは私だけでしょうか。強制的に手術され何十年も苦しんだ年月は、どんな額ならば納得できるでしょう。初めに国が提示した320万円は論外ですが、1,500万円でもないと感じます。しかも、決定するまでに国と弁護団の間でかなりの攻防があったと聞きます。「負けて悔しい、少しでも減らしたい」が国の思いなのでしょう。例えどんなに高額だったとしても、心からの謝罪と誠実な検証をして「障害による差別のない社会」を実現する政策と実行がなければ納得できないでしょう。

約100年前、精神科医の呉秀三は、「座敷牢」に閉じ込められた精神病の人達を「この国に生まれこの病を受けたことを『2重の不幸』」と表現しました。同様に被爆者も優生保護法の被害者も、日本という国に生まれたために、長く苦しみを続けなければならないのでしょうか。

「虎に翼」で、被爆者の女性が、弁護士事務所の壁に描かれた憲法を見て、「差別ってなんででしょうね」とつぶやくシーンがありました。差別され苦しんでいる人達のために、何かしなければと思います。私が差別されたくないからです。原告の人たちが償われぬまま終わりにしないために、共に戦いたいと思います。それぞれのやり方でいいのではないのでしょうか。長く続けることが大切だから。

(荒川)

『障害者生活支援センター あらぐさ通信』

あらぐさ福祉会 職員研修「虐待防止研修」が行われました。

始めに虐待防止のパワーポイントを見た後、基幹相談支援センターの職員が講師となり、「虐待防止には、普段から人と人との関係性を大切にすること、小さな喜びを共有しあうこと、職員も困ったら相談をすること、時間はかかってもこれらを利用者とともに実践すること」を確認しあいました。

後半は、支援センターの職員から、生活支援センターの役割について、計画相談事業の流れも説明しながら、いろいろな相談事業を行っていることの話がされました。引き続き、継続的に研修を行っていきたいと思います。

(重松)

『第3クローバーハウス通信』



第3クローバーハウスは上尾市上野にあり、女性7名が暮らすグループホームです。

金曜日に帰宅する仲間 1 名、土曜日に 6 名が帰宅しますが、翌日の日曜日に 2 名～3 名が泊を利用しています。日曜日にご家族の希望があれば泊を利用することができます。

女性ホームの特徴は、毎日事業所「あらぐさ」からホームに帰ると、あらぐさでの出来事など報告に夢中になり、ドリンクを飲んで一息つくのを忘れてしまうほどです。

時には、泣いたり怒ったりすることがありますが、他の利用者が様子を心配そうに見守り声を掛けている姿があり微笑ましく感じます。



*A さんの居室をご紹介します。入浴と夕食を食べ終え 6：30 分以降は居室でテレビを見たりダンスの練習や体操等をして過ごしています。部屋をととても大切に使用して毎日きれいに片付けられています。

(相良)

ー ジ

後 援 会 の ペ

きょうされん発行の『TOMO』9月号の「晴れときどき」というページに家族の石井延子さんの文章が掲載されました。A4一枚という規定でしたので、思いが書き足りなく、もう少し伝えたいことをここに載せます。

裕は第一クローバーハウスに第 1 号で入所し、22 年経ちました。雑草 GH 歴史と同じです。当時「まだ両親とも元気なのになぜ GH?」という声が聞こえてきました。

10 年後、夫が脳出血に倒れ生死の境をさまよう日々が続きました。裕の「週末帰宅」は無くなりました。2 か月ほどかけ夫は回復しましたが、「子供を預けっぱなしにして、旦那を家でみるの。旦那は施設に入れればいいのに、逆じゃない。」と、言う声も聞こえてきました。

7 年後、夫は亡くなりました。週末帰宅を再開したいと高橋職員に話すと「せっかく慣れたのだから混乱させない方がよい」「GH は 365 日開所」、目からうろこでした。「あらぐさの考えは素晴らしい」と改めて思いました。

夫の死後一人暮らしになって緊張の緒が切れたのか、私は「病気の嵐」に見舞われました。一生涯かけてかかる病が、台風の様次から次へと発生したのです。「あの時高橋職員の言うとおりにして本当に正解だった」とつくづく思いました。今、「病気の嵐」とは上手に付き合っているつもりですが、先は不安です。

会う機会が激減したコロナの頃は、私を見かけると仕事を放り出して飛んで来た裕でしたが、今は私を見かけても目で追うだけです。私が頻繁に雑草に顔を出すようになったせい、裕がやっと大人になったせい、ちょっと寂しいです。

埼玉暮らしの場を考える会報告

7月・8月・9月で8つの学習会・研修会、4つの県との交渉・懇談が行われました。

いま国の方針は大規模の入所施設を減らし、地域移行(GHや一人暮らし)へと進ませています。しかし地域の受け皿は無く、現実では無理な話です。入所施設待機者も大勢います。「地域で暮らす」ことはとてもいいことですが、安心して暮らせる生活の場は少ないです。しかしやっと厚労省が入所施設待機者の実態をあきらかにすると言ってきました。どのように進めていくのか注目していきたいと思います。

あらぐさコンサート



3月1日に荒馬座をお招きして、

第21回あらぐさコンサートを開催いたします。

場 所 : あげお富士住建ホール(旧 上尾市文化センター)大ホール

時 間 : 13時開場、14時開演

バザー、自主製品販売、他事業所販売、等 盛りだくさんです。

チケット : 一般 3000円 3歳~小学生、障がい者 2000円

当日券 500円増し

チケット絶賛販売中!!

多くの皆様のご来場をお待ちしております

チケットのお問い合わせは雑草まで(☎ 048-726-5720)

模擬店出店のご案内

◎ あらぐさまつり 11月2日(土)

◎ 産 業 祭 11月9日(土)、10日(日)



～ お待ちしております ～

2024年度賛助会員(6月～8月)

会費納入ありがとうございました(敬称略、順不同)

川西 由夏 岩崎千代子 村松智恵子 二見ひとみ 福田恵美子
深井美千子 秋山 もえ 亀井 陽子 石井 貞子 木村 理恵
岡田 弘子 松尾 清水 本多紀恵子 平山 由